

科目名	運動学	担当教員	山中 正紀 隈元 庸夫 久保 勝幸 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----	------	---

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	1年次	後期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13AE	②					

科目概要	「人体構造機能学（筋・骨関節系）」で学習した知識に加え、生体力学的観点から、人間の身体運動に関する基礎を学ぶ。筋や骨、関節構成体の構造と、モーメントやテコの観点から身体活動がいかに効率良く、合理的なシステムに基づいて行われているか理解を深める。また運動学的分析の手法を学び、人間の動作を客観的に分析できることを目指す。さらに、姿勢制御や運動学習といった神経生理学的な観点からも、運動がどのように行われ、学習されているのか、その基礎を学ぶ。
学習目標	①運動・動作の基本的用語・表し方、②運動における力学の基礎、③四肢と体幹の運動、④歩行、⑤姿勢制御および運動学習を理学・作業療法と関連づけ具体的に理解することが目標となる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	運動学の基礎	運動学の定義、身体運動の捉え方、運動の表し方、運動力学	運動学の定義、身体運動の捉え方、運動の表し方、身体におけるテコ、モーメントについて理解する。	
2	下肢の運動 1	足関節・足部の運動	足関節・足部の運動について理解する。	
3	下肢の運動 2	膝関節の運動	膝関節の運動について理解する。	
4	下肢の運動 3	骨盤帯・股関節の運動	骨盤帯・股関節の運動について理解する。	
5	下肢の運動 4	骨盤帯・股関節の運動	骨盤帯・股関節の運動について理解する。	
6	体幹の運動 1	頭・頸部の運動	頭・頸部の運動について理解する。	
7	体幹の運動 2	胸部・腰部の運動	胸部・腰部の運動について理解する。	
8	上肢の運動	上肢帯の運動	上肢帯の運動について理解する。	
9	上肢の運動	肩関節の運動	肩関節の運動について理解する。	
10	上肢の運動	肘関節・前腕の運動	肘関節・前腕の運動について理解する。	
11	上肢の運動	手関節と手の運動	手関節と手の運動について理解する。	
12	歩行	歩行周期、歩行時の運動学的・運動力学的分析、歩行時の筋活動	歩行について理解する。	
13	姿勢	姿勢のタイプ、姿勢の見方	姿勢のタイプ、姿勢の見方について理解する。	

14	姿勢制御	重心と姿勢の安定、姿勢制御機構	姿勢制御について理解する。	
15	運動学習	運動学習における諸理論	運動学習について理解する。	
評価方法		小テスト（各単元後に実施）50%、筆記試験 50%		
課題に対するフィードバック		1 各単元後に「小テスト」を行う（課題）。 2 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する（フィードバック）。 3 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。		
教科図書		中村隆一、他『基礎運動学（第6版補訂）』医歯薬出版、2020年		
参考図書		Neumann DA・著、有馬慶美、他・監訳『筋骨格筋のキネシオロジー（第3版）』医歯薬出版、2014年 KapanjiAL・著、塩田悦仁・訳『カパンジー機能解剖学（第6版）』医歯薬出版、2010年 藤縄理、他・編『運動学テキスト（改訂第2版）』南江堂、2015年		
学習の準備		1.（予習）事前に教科書の該当箇所を熟読しておくこと（90分）。 2.（復習）授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと（90分）。		
オフィスアワー		月曜日 13:00～14:30、その他在室時はいつでも可		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				